

ひまわり組だより 8月号

令和4年8月22日 ことり保育園 担当:石田

セミの鳴き声がたくさん聞かれ、暑い日が続きますが、そのような中でも子ども達は元気一杯です。

先日、暑さが和らいだ日に久しぶりに散歩に出掛けました。この日は子ども達一人一人がおでかけ図鑑を首から下げて、夏の虫や草花を観察しに行きました。目的地の土手に着いてからおでかけ図鑑を見おと約束するとその約束を守り、早く図鑑を見ながら自然観察をしたからとよで、いつもより足早に目的地の土手に歩いて行きました。土手に着くと自然観察をするときの約束事をして子ども達は見つけた花や虫を図鑑と照らし合わせて観察していました。この時、自然と友だち同士で図鑑を開いて持ち見る役と実際の草花を近くで観察し図鑑と見比べる役という役割分担が出来ていて成長を感じられる一場面でした。

そして、園に帰る時間になり、列を作り並び始めたところ、泣いてしまう子の姿がありました。「どうしたの？」と声を掛けると「何も持っていない」とその子は答えてくれました。他の子は見つけた草花をお土産にしてお持ちしていたのです。すると、それを聞いていた友だちが、「ちょっとあげるよ。」と言って持っていた花を分けくれました。それを見ていた友だちが一人また一人と少しずつ分けてくれて、他の子と同じくらいの量をお土産に持ち帰れることになりました。保育者が相談したわけでもなく、困ったことを表現できた子、困っているお友だちに対して自然に関わることが出来る優しい子ども達に心を打たれた瞬間でした。これからも子ども達の素直で優しい心を育てる手助けが出来ると楽しみに努めていきます。